

## 【国立科学博物館】習志野隕石の新たな破片（習志野隕石3号）が発見されました

独立行政法人国立科学博物館（館長：林 良博）は、2020年7月2日（木）2時32分頃に目撃された火球に由来する隕石（習志野隕石）の新たな破片が発見されたことをうけ、分析した結果、習志野隕石3号であることを確認しました。

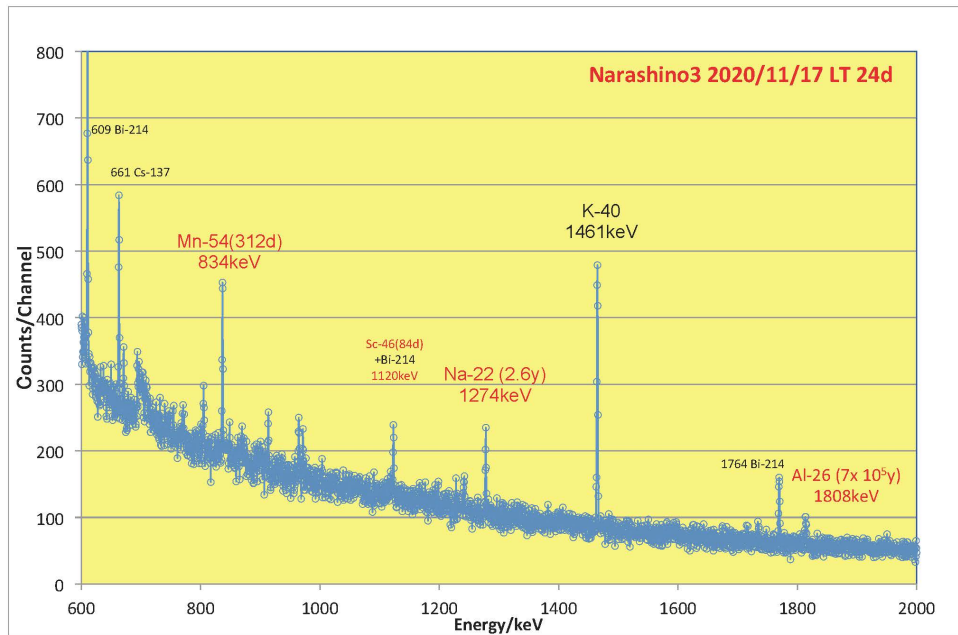


習志野隕石3号（割れた内部、金属粒が錆びて茶色くなっている）



2020年10月25日に習志野隕石2号落下地の北約1kmにある千葉県船橋市内のスーパーマーケットの屋上駐車場で大きさ約3.0×2.5×1.5cm、重量14.67gの破片が発見され、千葉県立中央博物館にお問い合わせがあり、国立科学博物館に分析を依頼された。

当館で約24日間のガンマ線の測定を行い、宇宙線生成核種のアルミニウム-26(半減期約70万年)、ナトリウム-22(半減期約2.6年)、マンガン-54(半減期約312日)が検出され、最近落下した隕石であることを確認した。



習志野隕石3号のガンマ線スペクトル

また、2号の破片が自動車等に乗って運ばれた可能性があったため、習志野隕石の他の破片と比較したが、この形状に合う部分はなく、独立した破片であることが分かった。

なお、落下後3ヶ月以上が経っており、駐車場という場所で頻繁に掃除もされているため、他の破片は見つかっていない。

国立科学博物館

公式ウェブサイト：<https://www.kahaku.go.jp>

筑波実験植物園：<http://www.tbg.kahaku.go.jp>

筑波研究施設：<https://www.kahaku.go.jp/institution/tsukuba/index.html>

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000195.000047048.html>

文化庁のプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/47048](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/47048)

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

独立行政法人 国立科学博物館

担当研究員：理工学研究部 理化学グループ長 米田 成一

筑波研究施設 研究活動広報担当：稲葉 祐一

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1

TEL:029-853-8984 FAX:029-853-8998

E-mail:t-shuzai@kahaku.go.jp

※画像の利用には申請が必要です。上記メールアドレスまでご連絡ください。